

総合衛生管理サービスを全国展開する赤門ワイ レックス（社長＝山田晃也氏、本部・愛知県長久手市戸田谷1323）の2022年9月期（2021年10月～2022年9月）業況は、製造工場での環境維持対策や食品工場における衛生環境対策の進展に加え、大型案件の受注など同社にとっての事業環境の回復等が相まって計画通りの着地となつた模様。今期に入つてからも受注は「順調な滑り出し」（山田社長）を見せており、同社としても市場ニーズに向き合ひながら堅実に実績を積み上げる方針。

同社は食品メーカー、自動車メーカー、医薬品メーカーの製造現場から

建築会社、設備会社の現場における環境衛生ソリューションの提供を主軸

で、前期でも多く受注したアスベスト除去工

事について、昨年4月 支えしてきた。主なソリューションでは空調システムメンテナンス、食品メンテナンス、衛生設備メンテナンス、クリーニングをはじめ、生産設備にもアスベス

ト含有の可能性があるだけに綿密な事前調査が求められる。

・医療機器製造工場での空調バリアーションに係る測定業務などを揃え

る。工事発注者は、契約時に施工業者に対し

てアスベストの使用状況を通知するように努め

ることで汚染を抑制する。除工事終了後に

作業場所における空気

## 赤門ワイ レックス 環境衛生 海外工場オンラインコンサル開始 前9月期 計画通りの着地

スト対策。空調に関する改修工事の際の事前調査も、空調ダクトのクリーニングをはじめ、冷却塔・冷凍機・空調機のメンテナンス、医薬品の医療機器製造工場での空調バリアーションに係る測定業務などを揃え

る。同社は、工事発注者は、契約時に施工業者に対し

てアスベストの使用状況を通知するように努め

ることで汚染を抑制する。除工事終了後に

作業場所における空気

リットル中の纖維状粒子（アスベスト粒子を含む）の本数を約10本以下

として台湾進出の日系合

支えしてきた。主なソリューションでは空調システムメンテナンス、食品メンテナンス、衛生設備メンテナンス、クリーニングを始めた。これ

まで一貫対応できる体

改正）が施行され、来年10月にかけて順次改正される。すなわち建築物、工作物等の解体・改修工事でのアスベスト対策の規制が強化され、解体・法》が一般財団法人日本連法令に則って除去工事を整備している。

特筆されるのは、独自の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術「アスベスト除去AAA工法」が一般財団法人日本

東京ビッグサイトで開催を行うとともに、施工中

される「2023 NEW

環境展」と6月6日から9日まで東京ビッグサイトで開催される「FOO

ルを駆使したこのコンサルティングは、同社の事業にとって新たな一歩

として台湾進出の日系合



西日本食品産業創造展での同社ブース

で同社は関連する展示会への出展も前向きに取り組む。今期は「第32回西日本食品産業創造展」

で同社は、初出展した。「九州圏は当社にとって重要な市場」（同子）アスベスト粒子を含む）の本数を約10本以下

として台湾進出の日系合

支えしてきた。主なソリ

ューションでは空調シス

ト綿障害予防規則等の

改正）が施行され、来年

まで一貫対応できる体

改正）が施行され、来年10月にかけて順次改正さ

れる。すなわち建築物、

工作物等の解体・改修工

事でのアスベスト対策の

規制が強化され、解体・

法》が一般財団法人日本

連法令に則って除去工事

を行なうとともに、施工中

に解説した。さらに来年は5月24日から26日までは、工場スタッフに装着されたウェアラブルカメラで工場内主要箇所をリアルタイムに撮影。その映像を見ながら指導を行な

ことで除去工事中の作業者的安全を確保する」と

いう3つを目標としたと

明確にする。

リットル中の纖維状粒子（アスベスト粒子を含む）の本数を約10本以下

として台湾進出の日系合

支えしてきた。主なソリ

ューションでは空調シス

ト綿障害予防規則等の

改正）が施行され、来年

まで一貫対応できる体

改正）が施行され、来年

まで一貫対応できる体

改正）が施行され、来年

まで一貫対応できる体

改正）が施行され、来年